

北杜市立中学校再編整備の 検討経過と方向性について

令和5年6月
北杜市教育委員会

1. 北杜市立中学校再編整備の検討経過について

令和3年度までに、教育的観点と持続的な行財政運営の観点から、北杜市の中学校の再編整備に向けた前提となる考え方が整理されてきた。

教育的観点（適正規模審議会からの答申）

● 検討の背景

年々子ども達の人数が減少する状況の中、中学校の小規模化、学級規模の大小の偏在、人口減少社会における持続可能な学校経営等に課題意識を持つ北杜市は、改めて中学校の適正規模等の検討を行うため、北杜市立小中学校適正規模等審議会に対し諮問を行った。

● 北杜市立小中学校適正規模等についての答申

〈考え得る選択肢〉

- ・小学校、中学校の垂直統合
- ・中学校のみの水平統合（2～1校程度）
- ・垂直統合と水平統合との組み合わせ

持続的な行財政運営の観点（新・行政改革大綱）

● 検討の背景

令和7年度で合併特例事業債が終了することにより安定的な歳入確保が難しくなる中で、歳出においても、社会保障費や公共施設の維持管理・更新経費の増加が見込まれる。歳出全般にわたる経費縮減と市民ニーズを的確に反映した経営資源の「選択と集中」を進める必要がある。

● 新・行政改革大綱

〈公共施設保有量の最適化〉

- ・市内中学校は
2～4校での統合・再編（甲陵中除く）

★令和4年度は、**北杜市中学校再編整備検討委員会**において、2つの観点を踏まえ、再編整備の方向性を検討した。

2つの観点を踏まえた方向性の検討

● 検討の背景

2つの異なる観点から、北杜市の中学校の再編整備に向けた前提となる考え方が示されたため、それぞれの考え方を深く理解した上で、総合的に検討して、再編整備の方向性を導出する必要があった。

● 中学校再編に係る基本的な方向性

- ・「水平統合による一定の学校規模」に統合することが望ましい。
- ・「学年3～4学級程度が実現できる学校規模」が望ましい。

※詳しくは
次ページ

2. 中学校再編に係る基本的な方向性

8町村が合併し、北杜市という広がりの中で、近くに学び合える仲間がいる状況を前提とし、**中学生という発達段階において、実際に関わり合うこと、交流し合うことの重要性**などを考えたとき、生徒の学習環境、生活環境、また、学校の教職員の配置等も含め、総合的に教育環境について検討した結果、今後の北杜市の中学校の再編整備の方向性として、「**水平統合による一定の学校規模**」に統合することが望ましいという方向に意見集約された。

また、学校規模については、生徒が複数の小学校から入学し、**新たな人間関係を築ける規模**、学年の進行に伴うクラス替えにより**人間関係を再構築**できる規模、生徒会活動や行事等において、自治的な活動、**互いに刺激し高めあう活動が推進**できる規模、また、教員の配置数に関わり、**専門教科教員を全教科に配置し、主要教科については複数の教員が配置**できる学校規模、現在、北杜市の**多くの学校で行われている部活動が設置**できる規模等を勘案し、「**学年3～4学級程度が実現できる学校規模**」が望ましいという方向に意見集約された。

しかし、通学距離が地域によっては長くなることから、そのための対応も適切になされることの必要性も今後重要な議論になることが指摘された。

以上のことから、今後の北杜市の中学校の再編整備の方向性を、

- ・「**水平統合による一定の学校規模**」に統合することが望ましい。
- ・「**学年3～4学級程度が実現できる学校規模**」が望ましい。

とし、今後、各学校及び各地区において説明する機会を設け、児童生徒・保護者の意見や広く市民の声を聞く機会を設け、それを踏まえ、さらに検討委員会で検討し、具体的な方向性を定めていくこととする。

【参考】北杜市中学校再編整備検討委員会の経過と資料

北杜市中学校再編整備検討委員会の内容と資料の全体像を以下に示します。各資料は、北杜市ホームページで公開されております。

★の資料は、基本的な方向性を検討する際に、特によく参照された資料です。基本的な方向性を理解する上で必要なデータであり、本日配布しています。他の資料については、本日は説明しきれないため、ご自宅等でダウンロードしてご確認ください。

| 日時 | 内容 | 資料 |
|---------------------|--|--|
| 第1回 (令和4年7月26日) | <ul style="list-style-type: none"> ●小中学校適正規模等審議会からの答申について ●新・行政改革大綱について ●北杜市の学校教育について | 資料1 北杜市立中学校再編整備検討委員会設置要綱 資料2 適正規模等についての答申 資料3 行革大綱概要版 資料4 北杜市の学校教育 資料5 年度別中学校生徒数(見込み) 資料6 令和4年度、10年度の小中学校児童・生徒数 |
| 第2回 (令和4年10月13日) | <ul style="list-style-type: none"> ●北杜市の「中学校の現状」について <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校に関わる「中学校の現状」について ・北杜市の「学校教育の目指す方向性」について ●「適正規模審議会の提言」の内容について <ul style="list-style-type: none"> ・垂直統合、水平統合、組合せ統合の3案について ・3案のメリット・デメリット、改善方法について | ★資料1 生徒数減少に伴う中学校小規模化による課題及び改善の方向性 資料2 少子化が進むことで発生するデメリット・メリット 資料3 答申の3案の概念 資料4 統合を実施した場合のポイント 参考資料 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 |
| 第3回 (令和5年1月20日) | <ul style="list-style-type: none"> ●垂直統合を基本とした場合の生徒数、学級数、教員数の状況について ●水平統合を基本とした場合の校数別の生徒数、学級数、教員数の状況について ●水平統合を基本とした場合の通学距離イメージについて | 資料1 前回の振り返り ★資料2 垂直統合を基本とした場合の「学校規模の状況(生徒数・学級数・教員配当数等)」 ★資料3 水平統合を基本とした場合の「学校規模の状況(生徒数・学級数・教員配当数等)」 資料4 通学距離検討(現状・1校・2校・3校) |
| 第4回 (令和5年2月17日) | <ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度の振り返り ●検討委員会における基本的な方向性について | 資料1 全体振り返り 資料2 第3回振り返り |